



# シルバーだより

No. 317  
平成 28 年 12 月 1 日  
荒川シルバー大学  
荒川区荒川 3-49-1  
理事長 岡田芳子  
TEL 3801-5740  
FAX 3801-5691

## — 学園祭を終えて —

学長代行 望月 公子

学習の成果を発表する二大行事の一つである学園祭が、確かな手ごたえを持って終了しました。前日の準備は、会場の点検・作品の搬入・掲示等、期待と緊張から始まりました。

初日の開会式には、荒川区長西川太一郎様をはじめ多くの方々にご参列をいただきました。心より感謝申し上げます。展覧会会場を回られたご来賓の皆様からは「今年も楽しみにしてきました」「素人離れのすごい作品ばかりですね」等、身に余るお褒めの言葉をいただきました。

2日目は、終日じっくり鑑賞できるとあって、出品者・家族・友人・一般の方等の来場が多く、体を斜めにしながら歩かなければならないほどの盛況ぶりでした。この日は、茶道教室のお茶席もあり、活気と静寂が相まった1日でした。

3日目の後半は閉会式を控えているため、出品者は自分の作品の説明や、他教室の作品を観ておきたいという気持ちからか、会話や笑い声が溢れ、それぞれの人の思いが沸き上がっているような感じを受けました。午後4時半過ぎには、立つ鳥跡を濁さずのことわざ通り、どの教室もチリ一つなく片付けてありました。学生や当番の方に感謝いたします。



今年の学園祭のテーマは、これと言って特に決めませんでした。受付のすぐ横にあった絵手紙教室のパネルに「輝く個性」とあったように、どの教室も個性あふれた力強い作品が多く、昨年に比べて一回り作品も大きくなっているように思いました。

講師の先生方の感想をお聞きしますと、「皆さんの熱意に感心しています」「自分でテーマを持ってやろうとしています」「学習力はいくつになってもついてくるものだと教えられています」等でした。

11月からは、後半の学習期間に入ります。2月には、もう一つの学習発表の場である学芸会がありますので、出演される教室の方々宜しくお願いします。

今年度の学園祭では、出品者 800 名余、来場者 1500 名以上の成果でした。学芸会も同様に楽しく意義あるものになるように、全員で応援していきましょう！！

## 《 第 30 回学園祭を振り返る 》

実行委員長・社会科見学教室講師 高橋 建司

荒川シルバー大学には、開講式・3回の合同講義・学園祭・学芸会・閉講式と5つの公式行事がありますが、その中で3日間と最も長くそして最も多くの人に参加するのが学園祭です。そのため準備には、常任理事・教室代表・地区班長など多くの方が長期間準備に当たりました。

特に実行委員は、7月6日の第1回打合せから、講師会での実施計画の話し合い、その後ムーブ町屋の担当者との4回にわたる打合せと、「3日間の学園祭」のために多大の時間を費やしました。今回も大きなミスもなく順調に実施出来たと自負しています。今年度3日間の累計来場者は、1567名と前年の1363名を大幅に更新しました。

展示した教室も、限られた面積の中でそれぞれ工夫して毎年、描くもの・作るもの・茶道・生け花・写真・パソコンなど、年々向上しているのは見事でした。

本年度より2教室の参加増でしたが、実施中に色々な教室の方や講師から次回に向けての要望も多く寄せられました。ムーブ町屋の担当者より色々な指導も受けており、これからしっかり反省会を行い、来年度がよりスムーズに運営出来るように検討したいと思います。展示・後片付けなどで特に事故もなく無事終了出来ましたこと、担当講師・学生の皆様に感謝します。

### 教室だより

## 《《 楽しい源氏物語教室 》》

世界54か国の著名な作家100人の投票で世界の小説ベスト100を選んだところ、日本の作品が二つ入ったそうです。その一つが『源氏物語』です。

私は、日本が生んだ世界の文学『源氏物語』にずっと興味はあったのですが、原文に挑戦する勇気がなく、口語訳で一部を読むだけにとどまっていた。

ところが、シルバー大学で平成27年度に「楽しい源氏物語教室」が開設されることを知り、早速、受講生になりました。講師は、古典文学研究者で文学博士の中山幸子先生です。教室では、先生の著書『やさしい源氏物語』を教科書にして、先ず、全員で原文と現代語訳を朗読します。次に、先生が物語の背景、人間関係、当時の生活様式などを詳しく説明して下さい、私達を優雅な平安朝の世界に誘って下さいます。『源氏物語』全54巻のうち去年は「若紫(わかむらさき)」を読み、今年は「末摘花(すゑつむはな)」を読んでいます。



「グローバルゼーション」「IoT」など外来語が氾濫し新語が次々と生まれる昨今、ちょっと立ち止まって古典に立ち返り、「日本のこころ」に改めて触れ直すことが、私たちの生活を真に豊かにしてくれると私は信じています。

『源氏物語』を全員で朗読する声の響きは、ベートーベン「歓喜の歌」の合唱に勝るとも劣りません。今年度の受講生は23名です。来年度は、皆様方に「楽しい源氏物語教室」にご参加頂き、朗読の響きをより大きく、より輝かしくしましょう。  
( 楽しい源氏物語教室代表 村山 義博 )

## 《《 水墨画教室 》》

水墨画教室講師 結城 秀翠

今年からご縁が御座居まして、シルバー大学の水墨画の講師を仰せつかりました。最初感じた事は、まだ調墨の仕方も筆の使い方も良く分からない人もいますが、皆さん学ぼうとする意欲にあふれているということです。

若輩者の私が申しては失礼かと存じますが、プラス思考に思っ「よし、ご指導する甲斐がある」皆、目を輝かせて真剣です。お手本を描いていると大事な事を聞き逃すまいとしてメモしている人もいて、愛おしささえ感じます。鳴かせてみよう時鳥ではありませんが、鳴くまで待とうでは、何時の事やら。少しずつ楽しみながら、2,3年先に、最初はこうだったわね、などと振り返って笑談する事でしょう。



生涯学習、色々な趣味を持って無理をせず一步一步学び取り有意義な人生を歩めたらと、自分自身にも云い聞かせたりして、この半年で技術も少し向上し皆さんも少し楽しさが出てきたようです。

初めての学園祭ですので、8月は特別夏期講習を、10月には、18日と21日に特別指導を致しました。無事学園祭も終わって、とても評判が良かったようです。天鼓先生も『心配だから見に来たよ』と云っておいで下さいました。『安心したよ、貴女のカラーが出ているね』とおっしゃっておりました。

皆さんも色々な分野に興味を持って多方面にお顔を向けては如何でしょうか。

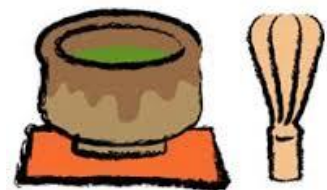
私もボランティア精神で、地域の為に微力ではありますが、お役に立てたらと思っております。11月から来年の学園祭に向けて一年間ありますので、ゆっくりのご指導させて戴きます。

---

## 《《 如何でしたか 茶道教室 》》

今年度の学園祭は、さわやかな秋空の下、卯の花点前にて皆様をお迎えさせて頂きましたが如何でしたでしょうか。

茶道教室生徒一同、力を合わせて練習・準備してまいりました。皆様にとって、心なごむ一服でありましたら幸いです。



ご指導頂きました染山先生からは、今年のテーマでありました野点の所作のみならず、お茶にまつわる歴史や逸話、日常に潤いをもたらすような様々な心配りも学ばせて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。

年を重ねてからの習い事ながら、こんなにも充実した日々を送っておりますのは偏にシルバー大学のお引き合わせがあったからこそだと思っております。

学園祭での茶道教室の発表を、新しい試みで皆様に楽しんで頂けるようこれからも努力してまいります。  
( 茶道教室 小澤 よし子 )

## 《《 年を経てしか見つけられない宝物 》》

パソコン教室講師 望月 利一

パソコン教室は、既に 10 年以上経過し、この間世の中のパソコンを取り巻く環境は目まぐるしく変化してきました。始めた当時は、パソコンを知らない方がほとんどでしたが、今では、パソコンを知らない人は、全くと言っていいほどいない世の中になっています。

教室での授業内容も、初めのうちは、巷のパソコン教室と同じような内容をそのまま持ち込んでいました。しかし、シルバー大学で学ぼうとする皆さんの特性を考えながら、授業内容を年々変えてきました。

今では、とにかくパソコンを使って遊んでもらおうというのが第一の狙いになっています。パソコンを使って色々な作品を作ることで、「考える力」「工夫する力」「記憶する力」等、様々な力が養われ、また、補われていきます。また、できなかったことができた時の喜び、新しいことができるようになった時の驚き、これらは、豊かな感情を呼び覚まし、生きていく上での活力になると信じています。

始めた時は、学生の皆さんは、私より年上の方ばかりでした。しかし、気がついたら、年下の学生さんもおられるようになりました。今まで、気付かなかった事も、年を経ることでしか見つけることができない事もあるということ、最近実感しています。そんな気付きを大切に、これからも皆さんと一緒にパソコンを楽しんでいきたいと思っています。

---

## 《《 華道教室 》》

華道教室講師 内藤 眞澄

5 月から 10 月までは学園祭に向けて盛花中心に基本の活け方を練習し、その中の数回はベーシックアレンジを練習してまいります。11 月から 3 月まではイベントの多い時期の花材となり、クリスマスを彩るリース作り、正月用の生け花等となります。松は縁起が良いとされていることから、お正月飾りに重宝されてきました。古来、松は長寿を意味するものとして尊ばれてきました。また、依代（よりしろ）として神様が宿るともされています。このように縁起の良いお正月用の生け花を家族が集まる場所に飾り、新年を祝ってはいかがでしょうか。

1 月から 3 月は主に枝ものの花が出回る時期なので矯めるか、花材によっては投げ入れ活けの留め方の技術を練習してまいります。

以前、新聞に「季節の移り変わりを何で感じ取りますか」という調査について掲載がありました。自然環境が豊かな地域では木々や草花など動植物を見るケースが多く挙げられ、一方都市部の人からは、店頭の商品・周囲の服装、さらには気温くらいといった少々味気ないコメントもあったそうです。近年白い壁に囲まれたマンションなど、シンプルな空間に住む人が多くなってきました。そのため、どうしても薄れがちなのが季節感や自然です。

月 2 回の教室ですが、そんな薄れがちな自然を花材から一足早く四季折々の香り・移ろい・安らぎを感じつつ、皆さん熱心に花をあしらう姿に敬服しております。楽しい教室です。



(広報部インタビュー)

◎佐藤ひでさん(硬筆、健康体操、写真教室に在籍)

毎朝、近所のラジオ体操会場で38年間皆さんとラジオ体操を行っていることが健康の元だと思っています。庭先で野菜や季節の草花を育てています。水やりを1日も欠かすことが出来ません。花や野菜の育ちと一緒に、私も元気を貰い、毎日のお仕事と趣味になっています、とおっしゃっていました。

今年の夏は特に暑く、Tシャツを着ることが多かったのですが、佐藤さんは、真っ白なTシャツにピンクの薔薇やニッコウキスゲを描いたシャツを着ておられましたので、素敵なのでどこでお買いになったかお聞きしましたら、ご自身で描かれたとのこと。さっそく、教えて頂きました。パソコン、写真、書道、絵、編み物等々、お仕事を55才で辞められてから10年毎に変えて何でも挑戦しています、とのことでした。

◎荻部きよのさん(華道教室に在籍)

水越清次理事長の時代に入塾して32年、陶芸・コーラス・レクダンス・気功教室で学んできました。今は、お花が好きなので華道教室に入っています。

手が震え、言葉もうまく言えませんが、内藤先生はじめ、教室の皆様がとても親切にして下さり、お世話になるばかりですけれども、出来る限り続けたいと思っています。

町会の集まりが月に数回あります。食事をしてお喋りをして、楽しいひと時を過ごしています。また、週に4日デイサービスに行っていますが、自宅にいる時は趣味の手芸を楽しみながら、長男の嫁と孫の三人で幸せに暮らしています。

96歳の荻部さん、明るく話してくださいました。私達学生の目標です。

— シルバーだより315号(平成28年10月号)に届いたお便りです —

①「心に染みる童謡の魅力」を読んで、原田先生でも忘却力はあるのですね。自分の日常を書かれた様な文でした。「そうそう同じです」と何か、自分だけではないのだと、ほっとしました。

「童謡の魅力」色々な事をご存じで驚きました。私も先生の文を読み、久しぶりに童謡のCDを聴いてみました。懐かしく心なごみました。以前、赤とんぼが大好きで、よくお風呂に入ると歌いました。また歌いたいです。

先生のおたよりはいつも心がなごみます。312号の「今を大切に生きる」にも励まされました。いつまでもお元気で、私達をご指導下さいます様お願い致します。

私は80歳になりました。70代とは、全く違った様々な事を知らされています。でも、頑張ってお勉強して、明るく生きて行きたいと考えて居ります。ありがとうございました。(一生徒より)

②先生のおっしゃる通り、童謡が最近忘れられていると感じる近頃です。日本を思わせる良い歌が沢山ある中、今の子供達は教わっているのでしょうか？昔は、親からも教わっていた気が致します。子供達から聞こえてこないのは、何故でしょうか？寂しい限りです。(市川)

## — 高潔な選手コメントに感動 —

私はリオデジャネイロ五輪で、特に選手のコメントに注目している。単に勝った負けただけでなく、支えてくれた家族、指導してくれたコーチ、先輩や後輩などへの思いも凝縮され、コメントはその人の人格そのものだと思うからだ。

「金メダル級」のコメントだと感じ入ったのは、体操男子のオレグ・ベルニャエフ選手（ウクライナ）の言葉だ。個人総合の最終種目で内村航平選手に際どく逆転されて2位になったベルニャエフ選手は、記者会見で海外メディアが内村選手に「審判から好意的に見られてるのでは」との質問を投げかけると「スコアはフェアで神聖だとみんな知っている、無駄な質問だと思う」と云い切った。

「悔しさが募る中、潔く負けを認め、勝者に敬意を払った態度に限りない品位を感じた。そしてベルニャエフ選手が内村選手と笑顔で握手を交わすのを見て、一日も早いウクライナの紛争終結を願わずにはいられなかった。

（平成28年8月17日 産経新聞「談話室」に掲載 28班 佐藤 恒子）



## ◆◆◆◆ 11月の学園日誌 ◆◆◆◆

2日	常任理事会・役員会 (学園祭・研修旅行 反省他)	21日	広報部編集会議
	年度末交歓会の件	24日	28年度支払調書作成
10日	29年度年間講義日程 センターへ申請	27日	29年度ふれあい館・ひろば館 使用許可申請書作成
		30日	シルバーだより 317号作成

## ※ 事務局だより ※

### 1. 講師会について

期日：12月16日（金）午後1時～ 会場：第一会議室

### 2. 29年度教室について

- ・新設：器楽教室（月曜・午後）（会場：夕やけこやけふれあい館予定）
- ・変更：気功教室（金曜・午後）（会場：日本総合医療専門学校予定）

※上記、詳しくは1月号に掲載致します。

### 3. 29年度学園祭について

期日：平成29年10月20日（金）～ 22日（日）

会場：ムーブ町屋 3F 4F



（事務所）TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691

（メールアドレス） [arakawa-silver@tcn-catv.ne.jp](mailto:arakawa-silver@tcn-catv.ne.jp)

室長・田原